



三条北ロータリークラブ週報

人類が 私たちの仕事

例会日
2001. 7. 24
累計 No 713
当年 No 4

国際ロータリー会長 リチャードD. キング 第2560地区ガバナー 野沢謹五
ホームページ <http://www2.next.ne.jp/2560nzwa>

会長/木宮 隆
幹事/山中 正
SAA/長谷川 恵慈

例会日/火曜日 12:30~13:30
例会場/三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局/三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
☎35-7160 FAX33-8972 Eメール sanjo-n@themis.ocn.ne.jp

行事: IM打合会 羽賀実行委員長

出席: 本日の出席 59名中 42名

先々週の出席率 59名中 49名 81.36% (前年同期83.02%)

先週のメイクアップ: 7月18日 三条RCへ 山上茂夫さん

19日 加茂RCへ 堀川正幸さん、落合益夫さん

23日 三条南RCへ 中條耕二さん、梨木建夫さん

ビジター: 三条RCより 小越憲泰さん

会長挨拶: 木宮 隆



健康のため、今年も早朝の散歩を始めた。5時ごろから約1時間、大崎方面に向けて歩く。早朝ということもあって、人も車もほとんど往来がない。しかし、どうゆうわけか交差点の信号は忠実に働いている。せめて点滅にでもなっていればと思いつつ、いつも赤信号で散歩が中断されてしまう。見通しの良い交差点で、しかも早朝、車だって一台も通っていないのに、杓子定規に交通ルールを守らなくたって、誰かが見ている訳じゃなし・・・信号が青に変わる一分少々の間、小市民はいつもこんなことばかり考えて、逡巡する。

名前は忘れてしまったけれど、確か「菊と刀」という題名の随筆の中でアメリカ人の著者が日本の文化を称して「恥の文化」と言っている。彼によれば、日本人は行動の規範を己自身の判断ではなく他人が自分の行動をどう見るかに置くと言う。

つまり、自分がやりたいと言う気持ちよりも、自分がそうすることを他人は、世間はどうかをまず、考えて行動すると言うのである。キリスト教を信奉する文化圏では、自分の内なる神、自らが信ずる神に誓って恥じない行動をすることが基本だと言う。

逆に、日本人は世間体を気にするあまり、時に、本心とはまったく別の行動をとることさえある

と言う。

私が以前勤めていた会社の社長が「センス」について説明してくれたことがある。彼によれば「センス」とは相手の立場に立って考えることだと言う。恥の文化が客商売の哲学としてビジネス・シーンでポジティブに活かされている証左ではないか。「あの人は服装のセンスが良い」などと言う時、我々はいったいセンス＝カッコ良さとかんちがいしがちであるが、本当は相手に不快感を与えない服装と理解すべきなのだ。

行動の規範を自己の内にとるか外にとるかは洋の東西で異なるようであるが、人生を生きていく上で自分の行動の規範となるような哲学を我々は持っておくべきであろう。

幹事報告： 山中幹事

- ・三条クリーン協議会より 五十嵐川クリーン協力に対するお礼
- ・糸魚川RCより 創立40周年記念誌送呈について
- ・第2660地区近藤ガバナーより 教育問題特別委員会報告書送付の件
- ・8月14日例会はお盆の為休会となります
- ・松永昌一 会員が退会されました（理事会ですでに承認済み）

委員会報告：

ゴルフ同好会より 今年度の年会費を事務局まで納めてください

ニコニコボックス： 24日現在累計 94,000円

齊藤正君 小田さんご子息のインターハイ出場を祝して

山崎勲君

山口竜二君 私と目が合ったものでBOXに協力

阿部誠一郎君 委員長のトナリで

小林満君 BOXに協力

小林繁男君 BOXに協力して

ロータリー財団ボックス：

大竹保男君 今年度のボックス担当です。米山さんの足を引っぱらないように頑張りますので
よろしく願いいたします。

米山忠俊君 暑い夏になっています。皆さん体に気をつけてこの夏を楽しく健康で乗りきま
しょう。ロータリー財団も宜しく願い致します。

落合益夫君 財団の米山さんに協力

IM打合会： 羽賀実行委員長

各担当毎に分かれ仕事内容等の検討

会員の声： 青木省一

今年度より週報の“会員の声”をと言うことで馬場直次郎会報委員長よりファクスいただき27日AM10時までに提出するようにと案内がありさて困ったなどうしよう私は職業的に対一の会話と数字の筆記は出来るのですが、文章を書いたりとの他多数の前で喋ることがとても苦手とし苦痛に感じますが、清水の舞台からとびおりた気持ちで書いてみます。私も皆様の仲間にして頂きもう11ヶ月がたちその間皆様から右も左もわからないわたしをご指導下さいました事改めて御礼申し上げます。

今から14年～15年前になると思われるのですが長野県の野沢温泉よりすこし長野よりのところに木島平部落の上に馬曲温泉があり、友人の家族と私ども一緒に遊びに行った時にその馬曲温泉の露天風呂に入り湯船のふちにあごを当て何気無しに遠く見たとか、先に飯山のやまなみその下に点在する民家その情景のあまりにも奇麗な景色になって美しいだ目線で物を見たり感じたりすることは、より真実にちかずけるのではかと教えられ感激して帰ってきました。それから何かにつけて人様と会話し論をするとき、又物を見自分自身で考えるとき、必ずこの目線を合わせ語りあい話すことが出来ればお互いに理解することが出来る物と信じております。又理解できない事が在るならそれは私自身が相手様に目線を合わせる事が出来ないときではないか、もっともっと勉強をしなければいけないのではないか教えられることが多いのです。

つたない文面申し訳ありませんこれで終わります。

四つのテスト

— 言行はこれに照らしてから —

- | | |
|------------|------------------|
| I 真実かどうか | III 好意と友情を深めるか |
| II みんなに公平か | IV みんなのためになるかどうか |

7月31日例会： 卓話 赤木弘喜様 （東北学院大学助教授）

8月7日例会： 卓話 米山忠俊会員

8月14日例会： 休会（お盆）

8月21日例会： IM打合せ

8月28日例会： IM最終打ち合わせ

9月1日例会： （土）IM 於三条商工会議所

9月4日例会： 休会（IMと振り替え）

9月11日例会： IM反省会

9月18日例会： 新世代の為の月間

9月25日例会： クラブ協議議会（AG公式訪問）